

いかだ

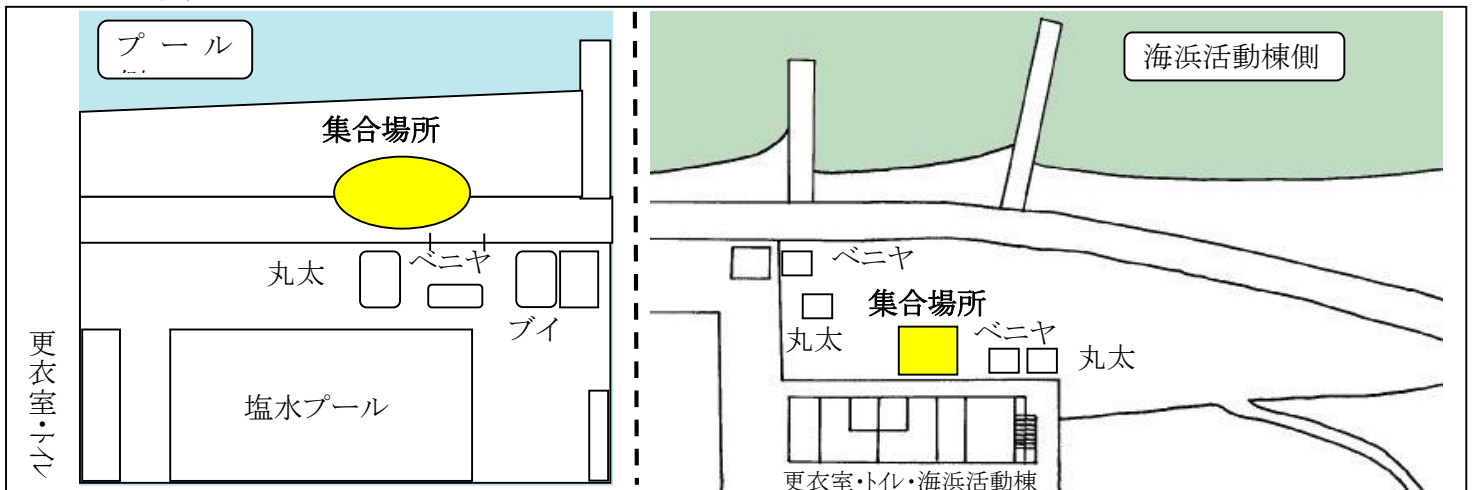


1 ねらい

素朴な材料を使い、原始的な方法で組み立て、海に浮かばせる一連の過程を通して協力や責任の大切さなどを体験的に学ばせる活動である。

- (1) 限られた時間内に素朴な材料を使って、みんなで作り上げる喜びを味わわせる。
- (2) 材料の運搬・組み立て・運航等の共同活動を通して、協力の大切さとすばらしさに気づかせる。
- (3) 安全で、壊れないように作り上げるために自分の役割や分担は責任を持って果たし、安全への配慮の心を育てる。
- (4) いかだに乗って海にこぎ出すことで、成功の充実感を味わわせるとともに、海に親しみ海の自然と私たちとのかかわりを考えさせる。

- 2 所要時間** 2.5時間程度
3 活動人数 1セットあたり中学生4人、小学生5～6人（最大35セットまで）
4 活動場所 海浜活動棟前とプール前の2か所



5 参加者の服装および準備物

- ・ 服装…帽子(水泳帽不可)、水着、濡れてもいいシャツやラッシュガード、古靴やウォーターシューズ(かかとがないもの不可、古靴下)
- ・ 水筒、タオル、着替え(当所の職員が指示した場所に置く。)







☆ 熱中症対策のため、活動の始めから終わりまで十分な水分補給ができるように、ペットボトル飲料を注文してください。

6 活動の流れ

- (1) 全員そろって事前指導を受ける。
- (2) 製作にあたってリーダー、制作場所を確認する。
- (3) 全員手分けをして材料をそれぞれの置き場から運び出す。

材 料	必要な数	備 考
ベニヤ板	2枚	たて90cm、よこ180cm
丸太	7本	直径6cm、長さ2.5m
ブイ	6個	直径35cm、長さ55cm
ロープ(丸太・ブイ用)	1束(24本)	長さ3m
ロープ(ベニヤ板用)	1束(12本)	長さ80cm
パドル	4本	うち1本は番号付き
救命胴衣(ライフジャケット)	1人1着	2サイズ(大・小)あり

(4) みんなで協力して組み立てる。

1		2		3	
	ベニヤ板、丸太、ブイを並べる		丸太をロープで結ぶ		ブイを結ぶ
4		5		6	
	いかだをひっくり返す		ベニヤ板を丸太に結ぶ。		完成

(5) 救命胴衣を着ける。

からだに合ったサイズのものを選び、ファスナーとひもで固定する。

班員同士で着け方やひもの結び目を点検しあい、確実に着ける。(引率者は再度確認)

(6) いかだ活動の説明を受け、安全への注意事項の確認をする。

- いかだへの乗り方とパドルの操作講習
- 合図と連絡の確認
- 活動の範囲等の伝達

(7) いかだに乗って海に出る。

潮の流れや風の方角について、常に警戒を怠らないようにする。

(8) 解体し、片付ける。

材料を一箇所にまとめ、決められた場所へ片付け・整とんする。

(9) いかだに乗った感想やこの活動を通して気付いたこと・学んだことなどについて話し合い、全員そろって事後指導を受ける。



7 留意事項

- (1) 班ごとに人員点呼を確実にするとともに、健康観察を念入りにする。
- (2) 「施設を大切に」、「時間を大切に」、「命を大切に」を前提に、安全管理を行う。
- (3) いかだに乗って海に出るときは、安全確保のため全員必ず救命胴衣を着用する。
- (4) いかだ 1 セットの人数は中学生4名、小学生5名が最適である。
- (5) 引率者は活動中の児童・生徒の様子に注意を払い、安全管理の視点から適宜指導する。(引率者数名は必ず水着に着替えておき、監視用カヤックを海に出し監視する。)
- (6) 原則バランスが悪くなり大変危険なので、子どものいかだに大人は乗らない。
- (7) 気温や気象(落雷・突風)、海象により、活動を中止することがあります。